

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年7月28日 (2011.7.28)

【公開番号】特開2010-4804(P2010-4804A)

【公開日】平成22年1月14日 (2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2008-168066(P2008-168066)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/00 A

C 1 2 M 1/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月9日 (2011.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞へ物質を導入して観察する細胞操作観察装置において、  
細胞を培養する培養器を水平方向に移動可能に載置するステージと、  
上記ステージに載置された上記培養器内の細胞を撮像して表示する観察手段と、  
上記ステージに載置された上記培養器内の細胞の内、物質の導入を行う細胞の位置を指定する指定手段と、

上記ステージを駆動して、上記指定手段によって指定された位置を上記観察手段の視野内の所定の細胞操作位置に配置する導入位置配置手段と、

上記導入位置配置手段によって上記所定の細胞操作位置に移動された細胞に導入物質を導入する細胞操作手段と、

上記指定された位置を示す細胞の位置情報と上記導入物質を示す導入物質情報とを含む導入細胞情報を表示する表示手段と、

を具備することを特徴とする細胞操作観察装置。

【請求項 2】

上記所定の細胞操作位置を設定する設定手段を更に具備することを特徴とする請求項 1 に記載の細胞操作観察装置。

【請求項 3】

上記細胞操作手段による細胞への導入物質の導入動作に連動して、上記導入細胞情報を記憶する記憶手段を更に具備することを特徴とする請求項 1 に記載の細胞操作観察装置。

【請求項 4】

上記導入細胞情報における導入物質情報は、観察条件の情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の細胞操作観察装置。

【請求項 5】

上記培養器を上記ステージ上に再配置した際、上記導入細胞情報に基づいて、対応する細胞に対する上記細胞操作手段での操作時における上記観察手段による細胞の観察状態を再現する再現手段と、をさらに具備することを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の細胞操作観察装置。

## 【請求項 6】

上記細胞操作手段は、上記導入位置配置手段によって上記所定の細胞操作位置に移動された細胞の細胞膜を穿孔することで、上記培養器内の培養液中に混濁させた導入物質を上記細胞に導入することを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の細胞操作観察装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の細胞操作観察装置の一態様は、細胞へ物質を導入して観察する細胞操作観察装置において、

細胞を培養する培養器を水平方向に移動可能に載置するステージと、

上記ステージに載置された上記培養器内の細胞を撮像して表示する観察手段と、

上記ステージに載置された上記培養器内の細胞の内、物質の導入を行う細胞の位置を指定する指定手段と、

上記ステージを駆動して、上記指定手段によって指定された位置を上記観察手段の視野内の所定の細胞操作位置に配置する導入位置配置手段と、

上記導入位置配置手段によって上記所定の細胞操作位置に移動された細胞に導入物質を導入する細胞操作手段と、

上記指定された位置を示す細胞の位置情報と上記導入物質を示す導入物質情報とを含む導入細胞情報を表示する表示手段と、

を具備することを特徴とする。